

みどり戦略出前授業「生徒自らが考えるきっかけに」

みどりの食料システム戦略をテーマにした出前授業にコンセンサス（合意形成）ゲームを活用。グループ内での意見交換により相互理解を深め、問題解決策の検討や意見の合意を図る。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」に示された「2050年までに目指す姿」の実現に向け、これからの社会を担う若い世代（高校生）が気づきを得て、自ら取り組むきっかけとすることを目的に出前授業の開催を企画した。

○ 取組の内容

出前授業では、「みどりの食料システム戦略」の「農林水産業のCO₂ゼロエミッション」など11のKPIをテーマにグループワークを行った。1つの結論を導き出すコンセンサス（合意形成）ゲームを行い、生徒それぞれが重要と考えるKPIについて考えをまとめ、相手に伝えること、相手の考えを受け入れることに重点を置き取り組んだ。

○ 効果・成果、今後の方向性

他者の考えを聞き価値観の違いなどを理解した上で、グループで協力しながら合意形成に努めたことで、みどり戦略の理解及び今後の行動に向けたきっかけに繋がったと考える。今後の出前授業の実施に当たっても、継続的に対象者に合わせたものとなるよう工夫していく。



グループワークの様子



タブレット端末に自分の考えをまとめる

体制図

